

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	東京書籍『新編現代の国語』				
副教材等	第一学習社『カラー版新国語便覧』、 尚文出版『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写 実践文字力トリプルチェック』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点			備考
					知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション			○			意味調べプリント (記述の点検)
	5	『コソソメスープ』 【読む】	・国語辞典の引き方を学ぶ。 ・漢字練習を行う。 ・筆者の思いや独自の考え方を読み取る。 ・筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出し、「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。	5		○		ワークシート (記述の確認)
		定期考査			○	○		発表の様子 (行動の確認)

二 学 期	6	気になるニュースについて話そう【話す聞く】	・新聞の読み方を学ぶ。 ・web 情報の検索の仕方とルールを学ぶ。 ・実社会のニュースの中から「好きなこと」「気になること」など伝えたい話題を決め、発表メモを作る。 ・「話し方のポイント」を参考に班内で発表し、ニュースを伝え合う。 ・「聞き方のポイント」を参考に聞く態度を学ぶ。	10	○	○	○	ワークシート (記述の点検) 発表メモ (記述の分析) 発表の様子 (行動の確認)
	7	定期考査			○	○		
	7	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう【書く】	・身近な社会生活や新聞、テレビのニュースなどからテーマを決め、自分の経験を振り返ったり、人から話を聞いたり、実際に現地を観察したりして関連する情報を集める。 ・集めた情報を選択し、自分の意見をまとめ、それをもとに壁紙新聞を作る。	10	○	○	○	ワークシート (記述の点検) 壁紙新聞 (記述の分析)
	9	水の東西【読む】	・難解な語句の意味を調べ、理解する。 ・評論文の書かれ方を理解し、読み方を学ぶ。 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・文章の要点を理解する。	8	○	○	○	意味調べプリント (記述の点検) ノート(記述の点検) ワークシート (記述の確認)
	10	定期考査			○	○		
	10 11	りんごのほっぺ【読む】	・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する著者の思いを読み取る。 ・戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。	7	○	○	○	意味調べプリント (記述の点検) ノート(記述の点検) ワークシート (記述の確認)
		POPを作ろう【書く】	・POP について調べ、効果的な表現の方法を理解する。 ・自分のおすすめの本を紹介する POP を作成する。	7	○	○	○	ノート(記述の点検) POP(記述の分析)
	12	定期考査			○	○		
	12 1	憧れの職業について調べ、まとめよう【書く】	・「憧れの職業」について様々なメディアや実際に体験した人などから調べる。 ・調べた情報の取捨選択をした上で整理する。 ・説得力のある文章になるように構成を	13	○	○	○	ワークシート (記述の点検) 清書プリント (記述の分析)

			決め、わかりやすくまとめる。					
	2	資料を活用して発表しよう【話す聞く】	・さまざまな発表の仕方について学び、班ごとに決めたテーマについて、発表の仕方や話の聞き方を工夫しながら発表する。	10	○	○	○	ワークシート (記述の点検) 発表メモ (記述の分析) 発表の様子 (行動の確認)
	2	定期考査			○	○		

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

		評価は次の観点から行います。		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点		・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・ 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことば持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
内容のまとまりごとの評価基準	コンテンツ	・ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 実社会に於いて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やとともに、語句や語彙の構造及び特色、用法、表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 《(1)ウエオ》	・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・ 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表に含まれる情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構造や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 《(1)アイ》	・ 進んで著者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に添って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 ・ 決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	気になるニュース	・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 《(1)イ》	・ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の交際や展開を工夫している。 《(1)アイ》	・ 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題にそって理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。 ・ 決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	集めた情報の内容	・ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 《(1)ウオ(2)ア》	・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 《(1)アイ(2)ア》	・ 積極的にさまざまな課題に興味関心を持ち、選んだテーマに関する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見を書く活動をしようとしている。 ・ 決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。

内容のまとめ(この評価基準)	水の東西	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会に於いて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やとともに、語句や語彙の構造及び特色、用法、表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 《(1)アウエオカ(2)アイ》	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を理解している。 《(1)ア》	・比較を通じて、粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深めようとしている。 ・決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	りんごのほっぺ	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会に於いて理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やとともに、語句や語彙の構造及び特色、用法、表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 《(1)アウエオ》	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を理解している。 《(1)ア》	・過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考えている。 ・決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	P O P を 作 ろ う	・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 《(1)ウオ》	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度を考えて文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう説明の仕方を含めると共に文体や語句などの表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかを確かめて、文全体を整えたり、自分の文章の特長を捉え直そうとしたりしている。 ・「書くこと」において、読み手が必要とする情報に応じて紹介文を書いている。 ・「書くこと」において、調べたことを整理して、説明している。 《(1)イウエ(2)イウ》	・積極的に活動し、魅力的なPOPを作ろうと工夫して取り組んでいる。 ・決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	憧れの職業について	・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 《(1)ウオ》	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度を考えて文章の構成や展開を工夫している。 《(1)アイ(2)ウ》	・粘り強く自分の興味関心にある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。 ・決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	資料を活用して	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 《(1)イオ》	・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるよう表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 《(1)ウエ》	・進んでわかりやすい発表活動の準備に取り組み、学習活動に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかりと聞いて機会を深めようとしている。 ・決められた時に課題に取り組み、提出期限を守って提出物を提出している。
	評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、ノート等の提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 20 時間	B 「書くこと」 30 時間	C 「読むこと」 20 時間
-----------------	------------------------	-------------------	-------------------

5 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、ワークシートやテスト対策プリントなどを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題に『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写 実践文字力トリプルチェック』を使用します。また、定期考査でも範囲になることがあります。その時は別途指示します。

6 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばすことなどを目指します。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。その中で、皆さんそれぞれがどのように授業に取り組んだかを確認するために提出物をこまめに集めていきますので、しっかり提出しましょう。

(担当：荒木 渡邊)

令和6年度シラバス（国語）

学番25 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編言語文化』				
副教材等	第一学習社『カラー版新国語便覧』 尚文出版『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写 実践文字力トリプルチェック』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動とおして、望ましい 勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

3 学習計画

※知…知識・技術、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション 『児のそら寝』	- 古文と現代文の違いについて確認する。 - 現代とは仮名遣いが違うことを知る。 - 音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 - 古語辞典を使えるようにする。	2 10	○			意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	5	中間考査						
	6	『とんかつ』	- 小説を読む楽しさや意義について話し合う。 - 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。	9	○			意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)

		『雪の深さを』	・五・七・五の定型・季語・切れ字などの俳句の基礎知識を学ぶ。 ・俳句を音読しリズムを味わう。 ・それぞれの句について、読解、鑑賞をして話し合う。 ・印象に残った一句を選んで感想文を書く。	6	○	○	○	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	7	期末考査						
二 学 期	7	訓読の基本	・基本構造「主語・述語」、句読点、返り点、書き下し文について理解する。 ・書き下しをし、現代語訳をする。	9	○	○	○	ワークシート (記述の確認)
	8							
	9							
	9	中間考査						
	9	『守株』	・書き下し文を参照に、訓点に従って正確に読めるように音読する。 ・書き下し文の決まりを確認する。 ・脚注を参照して現代語訳し、内容を理解する。	6	○	○	○	ワークシート (記述の確認)
	10							
	11							
	11	期末考査						
三 学 期	12	『芥川』	・歌物語や『伊勢物語』について理解する。 ・「女」の人物像を理解する。 ・「白玉か…」の歌を中心に、「男」の心情の推移を読み取る。	13	○	○	○	意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	1	『羅生門』	・時代背景を確かめる。 ・語句について理解する。 ・「下人」の内面をまとめる。 ・「下人」の内面の推移を理解する。	15				
	2							
	2	学年末考査						

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

『児のそら寝』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 (1)ア、ウ、エ／(2)ウ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (1)ア	・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。
『とんかつ』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (1)ア、イ、ウ、エ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (1)ア、ウ	・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。
『雪の深いを』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 (1)ア、ウ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (1)ア、ウ	・進んで俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。
「訓読」の基本	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 (1)ア、ウ、エ／(2)ア、ウ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (1)ア	・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。
『守株』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2)ア、ウ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 (1)ア	・進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。

『芥川』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (1)ア、ウ、エ／(2)ウ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (1)ア、イ、ウ	・進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。
『羅生門』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (1)ア、イ、ウ、エ	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 (1)ア、オ (2)イ	・進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。
評価方法	・以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	・以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析。 などから、評価します。	・以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 0 時間	B 「書くこと」 10 時間	C 「読むこと」 【 古典 】 40 時間 【 近代以降の文章 】 20 時間
-----------------	-----------------------	-------------------	---

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

5 課題・提出物等

- ・単元に関連する小テストを行い、学習内容の定着を図ります。
- ・単元ごとにワークシートを記入し、理解を深めます。
- ・長期休業には、漢字を中心とした副教材の課題を出します。

6 担当者からの一言

「言語文化」は、上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めることを主眼に設置された科目です。我が国の言語文化の担い手としての自覚を涵養し、社会人として生涯にわたって生活するために 必要な国語の資質・能力の基礎を確実に身に付けることをねらいとしています。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる狙いがあります。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

授業では、定期考査だけでなく、課題の提出や毎回の授業への取り組みも重視しますので、緊張感を持って毎回の授業に臨んでください。

(担当：荒木、渡邊)

教科(科目)	国語(文学国語)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	第一学習社『高等学校標準文学国語』				
副教材等	数研出版『プレミアムカラー国語便覧』、 浜島書店『国語表現ナビ』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点			備考
					知	思	主	
一学期	4	小説 『デューク』 江國香織	・「私」の心理の変化を読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文学的な文章の種類や特徴、表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとしている。	5	○	○	○	発問評価 音読 意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認)
	5	詩 『生命は』 吉野弘	・詩の構成を理解する。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。 ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	4	○	○	○	発表の様子 (行動の確認)
		定期考査		2	○	○		
	6	随想 『花のいざない』 観世寿夫	・内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文学的な文章の種類や特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について説明しようとしている。	7	○	○	○	発問評価 音読 意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)

	7	定期考査		2	○	○		
二 学 期	7 9	小説 『ナイン』 井上ひさし	・登場人物の心情を読み取り、人物間の関係性について考察する。 ・内容や構成、場面設定や表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文学的な文章の種類や特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。	14	○	○	○	発問評価 音読 意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	10	定期考査		2	○	○		
	10 11	随想 『真珠の耳飾りの少女』 原田マハ	・読み手の関心を引く文章の書き方や工夫を理解する。 ・文章構成、描写の仕方などを的確に捉える。 ・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に従って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。	12	○	○	○	発問評価 意味調べプリント (記述の点検) 音読 ノート(記述の点検) ワークシート (記述の確認)
	12	定期考査		2	○	○		
三 学 期	12 1	小説 『鼻』 芥川龍之介	・主人公と彼を取り巻く人々の心理を読み取る。 ・内容、構成、展開、文章表現の特徴を捉える。 ・文学的な文章とその表現技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主人公の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	11	○	○	○	発問評価 意味調べプリント (記述の点検) 音読 ノート(記述の点検)
	2	戦争と文学 『バグダッドの靴磨き』 米原万里	・登場人物同士の関係や心情を把握する。 ・時系列に沿って登場人物の関係や心情を粘り強く読み取ろうとしている。 ・物語の背景となる国際情勢や環境を理解する。	7	○	○	○	ワークシート (記述の確認)
	2	定期考査		2	○	○		

3 評価規準と評価方法

		評価は次の観点から行います。		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点		・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
内容のまとまりについての評価基準	デューク	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。 ・主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとしている。
	生命は	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。	・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。
	花のいざない	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているかを理解する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について説明しようとしている。 ・花が人の心にどのような影響をもたらしているかについて、積極的に考えを発表し合うことで、自然に対するものの見方について理解を深めようとしている。
	ナイン	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間関係性の深さについて考察する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。 ・小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。
	真珠の耳飾りの少女	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・フェルメールの絵画について述べられた対談の文章と比較して、文体の特徴や効果について考察する方法を学ぶ。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。 ・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に説明しようとしている。 ・作品に関連した三人の人物について積極的に調べ、文章にまとめようとしている。

評価方法	鼻	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。 ・内供を取り巻く人々の心理や態度を積極的に読み取ろうとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。
	バグダッドの靴磨き	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、「僕」の発言の背景を理解しようとしている。 ・「僕」が拳銃を買おうとしていることに対する自分の考えを「お客さん」のせりふとして表現を工夫して書こうとしている。
	評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、ノート等の提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 0 時間	B 「書くこと」 20 時間	C 「読むこと」 50 時間
-------------	-----------------------	-------------------	-------------------

4 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、ワークシートやテスト対策プリントなどを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題に『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写 実践文字力トリプルチェック』を使用します。また、定期考査でも範囲になることがあります。その時は別途指示します。

5 担当者からの一言

「文学国語」は、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養い、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるだけでなく、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことなどを目指します。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。その中で、皆さんそれぞれがどのように授業に取り組んだかを確認するために提出物をこまめに集めていきますので、しっかり提出しましょう。

(担当：荒木 渡邊)

教科(科目)	国語(文学国語)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	第一学習社『高等学校標準文学国語』				
副教材等	数研出版『プレミアムカラー国語便覧』、 浜島書店『国語表現ナビ』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点			備考
					知	思	主	
一 学 期	4	小説 『清兵衛と瓢箪』 志賀直哉	・「私」の心理の変化を読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文学的な文章の種類や特徴、表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・場面の移り変わりや登場人物の発言から清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考え方の違いを粘り強く読み取ろうとしている。	8	○	○	○	発問評価 音読 意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	5	定期考査		2	○	○		
	6	小説 『旅する本』 角田光代	・内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文学的な文章の種類や特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。	8	○	○	○	発問評価 音読 意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	7	定期考査		2	○	○		
	7	小説 『山月記』	・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の	14		○		発問評価 音読

二 学 期	9	中島敦	主題を考える。 ・ 内容や構成、場面設定や表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・ 文学的な文章の種類や特徴や表現の技法を理解する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。			○		意味調べプリント (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	10	定期考査		2	○	○		
	10 11	小説 『卒業』 魚住直子	・ 仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・ 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。	12	○	○		発問評価 意味調べプリント (記述の点検) 音読 ノート(記述の点検) ワークシート (記述の確認)
	12	定期考査		2	○	○		
三 学 期	12	詩 『永訣の朝』 宮沢賢治	・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・ 詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	11	○	○	○	発問評価 意味調べプリント (記述の点検) 音読 ノート(記述の点検)
	1	戦争と文学 『血であがなったもの』 大田昌秀	・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ・ 戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	7	○	○	○	ワークシート (記述の確認)
	2	定期考査		2	○	○		

3 評価規準と評価方法

		評価は次の観点から行います。		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
内容のまとまり（この評価基準）	清兵衛と瓢箪	- 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 - 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 読書の意義と効用を理解する。	- 清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 - 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 - 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 - 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	- 場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを粘り強く読み取ろうとしている。 - 当時の物価を積極的に調べたうえで、瓢箪の価格がどんどん上がっていくことの意味について、自分の考えをまとめようとしている。
	旅する本	- 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 - 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 読書の意義と効用を理解する。	- 短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 - 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 - 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 - 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	- 作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。 - 自分自身の変化を実感させるほどの「もの」との出会いについて、積極的に過去を振り返り、その経験を説明しようとしている。
	山月記	- 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 - 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 読書の意義と効用を理解する。	- 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 - 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 - 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 - 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	- 教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。 - 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 - 典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。

	卒業	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。 ・寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。
	永訣の朝	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。	・詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。
	血であがなったもの	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	・戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。 ・「二度と失ってはならないもの」とは何かについて、自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。
	評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、ノート等の提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの	A「話すこと・聞くこと」	B「書くこと」	C「読むこと」
授業時数合計	0 時間	20 時間	50 時間

4 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、ワークシートやテスト対策プリントなどを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題に『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写 実践文字力トリプルチェック』を使用します。また、定期考査でも範囲になることがあります。その時は別途指示します。

5 担当者からの一言

「文学国語」は、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養い、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるだけでなく、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことなどを目指します。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。その中で、皆さんそれぞれがどのように授業に取り組んだかを確認するために提出物をこまめに集めていきますので、しっかり提出しましょう。

(担当：荒木 渡邊)